

伝統芸術・文化・音楽の伝承を図れ

小林 区内に居る伝統文化に関わる方々に、中野の未来を託す多くの児童・生徒に伝統芸術などの伝承者や理解者となってもらえるような取り組みをすべきではないか。

教育長 様々な地域人材の協力を得て、学習に取り組むことで、日本の伝統文化や中野の地域性を理解するとともに、児童・生徒の中から伝統を受け継ぐ人材を輩出するなど、未来につながる教育を展開していく。



中野区中央1丁目 武田修能館(能楽師・武田志房先生、能楽師・武田友志先生)にて、能楽セミナーの様子

非常事態時の区の対応を問う

小林 ①北朝鮮によるミサイル発射情報に伴う警報が発令された際の区役所本庁舎、学校等の各施設における区民や児童・生徒等の安全確保策はどの様に考えているのか。

②区職員の体制や行動はどうか。

区長 ①区では「弾道ミサイル発射に係るJアラート発令時の区施設利用者等に対する職員の行動指針等について」を決定し、学校等の各施設の所管部でも、この行動指針に基づいた対応を定めている。

②区内にミサイル発射情報のJアラートが発令された場合、中野区国民保護計画に基づき、危機管理等対策会議を設置し、情報の収集、対応策の検討等を行う。

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度
区立3中・10中統合新校	計画	10中位置にて建設工事	竣工(中野東中学校)									
中野駅南口再開発	計画	建設工事	竣工	南口広場工事								
中野駅南口公社住宅	建設工事	竣工										
中野駅舎(西口改札・通路)	計画				建設工事							竣工
新中野区役所庁舎	計画				建設工事							竣工
区役所・サンプラザ再整備	計画					建設工事						竣工
平和の森 体育館	建設工事	竣工・旧体育館解体										
平和の森 多目的広場等	整備工事	草地広場開設										



小林 ぜんいち

■経歴

- (株)宮本忠長建築設計事務所
- (有)TAF 設計事務所
- 住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等設計監理

■所属団体等

- (社)日本建築学会正会員
- (社)東京建築士会正会員
- 福祉住環境コーディネーター協会会員
- マンションリフォームマネージャー
- 日本防災士会会員
- 早稲田大学福門建築会会員
- 中野稲門会会員
- 中野区長野県人会副会長

■議会役職等

- 公明党議員団副幹事長
- 議会運営委員会副委員長
- 建設委員会委員
- 防災対策調査特別委員会委員
- 中野区都市計画審議会委員
- 中野区土地開発公社評議員
- 中野区消防団運営委員会委員

Home Page
Facebook Page
Twitter

HOMEPAGE
ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト

サイトURL
<http://kobayashizenichi.com/>

ブログURL
http://blog.goo.ne.jp/kobayashi_zenichi

Facebookは、小林ぜんいち または Zenichi Kobayashi

Twitterは、小林ぜんいち または @koba_zen

中野区議会 公明党議員団 中野区中野 4-8-1 TEL.03-3228-8875



なかのゼロホール西館に、 念願のエレベーターが2基設置されました。

平成28年度から施工されていたゼロホールの大規模改修工事が終了し、西館小ホール入り口ロビーと西館学習室入り口ロビーに念願のエレベーターが設置されました。

昭和47年に建設された当時の中野文化センター西館、現在のなかのゼロホール西館には2階のホールに向かう昇降機設備が設置されていませんでした。小ホールの利用者や高齢者、友愛クラブの皆さんからエレベーターなどの設置を求める要望も頂いてきたところです。

平成27年9月第3回定例会で、昇降機設備の設置を求め、田中区長から設置可能な答弁を頂いていました。しかし、平成28年度大規模改修に当たり、当初の計画ではバリアフリー化の為のエレベーター設置が無く、建築的・設備的に具体的な提案を強く行い、盛り込むことが出来ました。

その結果、今回の大規模改修で、小ホールに向かうエレベーターが2基(1基の13人乗り、もう1基は3人乗り)が設置されました。西館はスキップフロア・途中階型の45年前の建物の改修のため、充分な満足感は得られ無いかも知れませんが、設置されました。大規模改修工事の主な概要は、屋根の葺き替え、省エネルギー化、ホール天井の耐震化、客席照明のLED化、舞台音響設備などの更新です。



西館学習室入り口エレベーター



なかのゼロホール西館入口



西館入り口ロビー中央にエレベーター



なかのゼロホール本館

中野区議会報告 平成29年 第3回 定例会 一般質問



一般質問(2017.09.11)

一般質問項目

1. 中野駅周辺のまちづくりについて
2. 住宅宿泊事業(民泊)について
3. 子育てひろば事業について
4. 待機児解消に向けた今後の保育行政について
5. 中野区内の伝統芸術・文化・音楽の伝承について
6. その他

- 1)生活困窮世帯への宅食について
- 2)北朝鮮によるミサイル発射など、非常事態時における区の対応について

小林ぜんいち 平成29年 第3回定例会 一般質問から

中野駅周辺まちづくり、 周辺地区との連携を図れ

小林 ①中野四丁目新北口地区を中野五丁目地区と連携させ、歩行者を回遊させてはどうか。

②歩行者の回遊を実現させるために、中野五丁目地区のまちづくりをどう進めていくのか。

区長 ①新北口地区は、アリーナや商業施設などによる相当規模の集客を見込んでおり、来街者を中野五丁目地区などの周辺地区に回遊させる「ハブ」としての機能を組み込んでいくことが必要である。まちづくり方針の策定に当たり、中野五丁目を含む隣接地区との交流を促す動線配置の考え方、ICTを活用した情報発信による回遊促進の考え方を示したい。

②中野ブロードウェイ・サンモールを中心に、楽しみながら歩ける賑わい軸を形成している一方、安全面や防災面、交通動線などの課題を抱えており、まちづくりを進めていくことが重要と認識している。新北口地区との連携について、双方のまちづくりを見据え、より安全で円滑な動線整備を検討していく。

アリーナのあり方を問う

小林 アリーナやスタジアムを起点としたまちづくりは、全国的にも着目されてります。

①民間による所有と運営を検討しているのか。

②ライブやエンターテインメント市場の動向をどのように調査しているのか。

③交通面や振動・騒音対策といった技術面について、どのような検討しているのか。

区長 ①関係者へのヒアリング、事業協力者の知見など、様々な方面からの情報を集約し、公共と民間それぞれの観点からの検討を進めている。

②関係者へのヒアリングを進めるとともに、公表されている文献や資料をもとに、研究を進めている。

③交通需要については、一定の開発規模の想定のもと発生交通量を算定し、検証している。振動や騒音対策については、事業協力者が持っている専門的技術に基づいて検証を進めている。



民泊に伴う住環境への影響から 区民を守れ

小林 ①住居・生活環境を守る制限を早急に設けるべきではないか。

②条例をいち早く制定し、住宅宿泊事業を始めようとする区民に一刻も早く実施に必要な条件を示すべきと考えるがどうか。

③マンションなどの一室を使った住宅宿泊事業者への区の監督指導について、マンション管理組合に対する管理規約上の変更等の必要性を含めた周知をどのように行っていくのか。

④住宅宿泊事業法に係る届出業務には、行政書士等の専門家が必要ではないか。

区長 ①住環境の安全・安心を確保するために必要な区独自の制限を条例に盛り込むことを検討しており、早期に条例が制定できるよう取り組む。

②条例制定後は速やかに条例の内容を広報するなど、届出開始までに事業予定者等に対する周知を十分に行っていく。

③住宅宿泊事業法の成立に伴い、国土交通省は「マンション管理規約」を改正し、住宅宿泊事業の可否を規約上明確にするよう促している。しかし、不明確な場合も多いと思われることから、同組合への周知は必要と考えており、その方法等について今後検討する。

④専門家が関与することにより迅速で適正な届出が期待できるかどうか今後検討したい。

子育てひろば事業の 今後の見通しを問う

小林 ①U18プラザ中央・上高田の跡活用における同事業の運営主体は誰になるのか。

②今後、新規参入事業者が同事業を運営することになっても、地域の貴重な資源として活躍してきたボランティアなどに関与して頂けるのか。

区長 ①同事業と認可保育所を一体的に運営することを条件として事業者を公募し、展開していく予定です。

②委託事業者の募集に際して、地域との連携に関する取り組みについての提案を求めています。

待機児童対策の今後を問う

小林 ①保育士の確保・定着・保育士不足を解消するため、保育士職員の子どもの区内認可保育所への入所に当たり、支援策を講じるべきではないか。

②民間保育事業者にとって大きな負担となっている宿舍借り上げ補助事業に係る支払いの改善を図ってはどうか。

③園庭のない保育所の遊び場確保について、児童館やU18プラザの閉鎖に伴い、どうつないでいくのか。

区長 ①保育士確保の支援強化も重要性が高いことから、平成30年4月の入園に合わせ、調整指数の加算による方式を実施するための準備を行っている。

②私立保育園の負担軽減の観点から、支払い時期の検討をしていきたい。

③保育事業者からの声も聴きながら、近隣の小・中学校との連携も進むよう、働きかけを行ってきたい。

中野区介護予防事業 「カラオケ健康体操教室」が 始まりました

平成27年(11月)第4回定例会で提案していましたカラオケ健康体操が、区内高齢者会館やすこやか福祉センターなどで、カラオケ機器と大型モニターを使い、インストラクターが講師となって開催しています。

